

令和2年度 事業報告書

新型コロナウイルス感染症の影響により、本県では2度に亘り緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が制約を受け、中小企業や小規模事業者は、その経営に大きな打撃を受けることとなった。

このような状況の中、当振興センターは、県をはじめ国や関係機関と緊密に連携を図り、関連支援施策を迅速、的確に実施するとともに、県内中小企業の中核的支援機関として、県内中小企業が事業の継続、さらには成長・発展を図ることができるよう、精力的に取り組みを進めた。

また、中小企業・小規模事業者のための経営相談所「福岡県よろず支援拠点」については、相談員の充実を図り、相談しやすい体制を整備し、来訪相談者数、相談対応件数、課題解決件数については引き続き全国上位となっている。

令和2年度中に実施した事業の概要は、次のとおりである。

I 公益目的事業

県内中小企業等の経営基盤の強化等を総合的に支援する事業を実施した。

1 情報提供事業

(1) 「ガイドブック」による中小企業支援施策の活用促進

中小企業が利用できる各種支援施策を紹介し、周知を図るため「中小企業施策活用ガイドブック」を作成し、経営指導員及び中小企業支援機関職員等の手引として、その活用を図った。併せて、ウェブ版を作成し、ホームページでガイドブック掲載の施策を検索・絞込みでき、スマートフォンにも対応できるようにするなど利便性の向上を図っている。

作成部数：3,500部

(2) ホームページ・メールマガジンによる発信

① ホームページ

振興センターが実施する各種事業等の活動内容を紹介した。

② メールマガジン

振興センターの事業内容やビジネス情報等を、メールマガジンにより配信した。

週1回（定期）の他、随時配信 配信先：4,129件

(3) 情報誌の発行

振興センター事業の最新情報や国・県の中小企業関連施策等を掲載した情報誌「ビジネスサポートふくおか」を発行した。

発行回数：12回（月1回） 発行部数：1,600部

(4) 景気動向調査の実施

県内中小企業の現況を把握するため、四半期毎にモニター企業 300 社に対して景気動向調査を行い、その結果を情報誌「ビジネスサポートふくおか」で年 4 回公表した。

2 新型コロナウイルス感染症関連支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内中小企業者に対し、福岡県等と連携して次の事業を実施した。

(1) 新型コロナウイルス対策経営相談電話事業

5 月から 10 月にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業の経営に係る臨時電話相談窓口（コールセンター）を設置・運営した。
相談件数：延べ 2,135 件

(2) 事業持続化応援専門家派遣事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている事業者に対して、それぞれの課題に応じた専門家を自己負担なしで派遣し、資金繰りや雇用に関する支援を実施した。

派遣件数：119 件

(3) 経営革新実行支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経営環境の変化に対応するため、新たな取組みにチャレンジする中小企業者に対し、福岡県知事の承認を受けた経営革新計画に基づき実施する事業や感染防止対策に必要な経費について、補助金を交付した。

交付実績：1,253 件（うち感染防止対策 360 件） 計 278,558,455 円（うち感染防止対策 116,243,333 円）

(4) テレワークツール導入支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながら、国の「IT導入補助金」を活用してテレワーク環境の整備を行う中小企業者に対し、自己負担分の一部について、補助金を交付した。

交付実績：90 件 計 18,422,713 円

(5) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業

新型コロナウイルス感染症に対応して、福岡県と福岡市が設置した新型コロナウイルス感染症対応資金の制度融資を受けた中小企業者に対し、利子補給補助金を交付した。

交付実績：福岡県分 62,886 件 計 3,647,793,558 円、福岡市分 24,797 件 計 1,460,346,796 円

3 経営改善及び販路拡大等による支援

(1) よろず支援拠点運営事業

中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制を強化するため、チーフコーディネーター1名及びコーディネーター44名を配置し、「総合的・先進的経営アドバイス」、事業者の課題に応じた適切な「チームの編成を通じた支援」、「的確な支援機関等の紹介」等の機能を有する「福岡県よろず支援拠点」を設置・運営した。

北九州・久留米・飯塚に設置している常設の相談窓口に加え、市町村や商工会議所・商工会等の支援機関と連携したよろず相談窓口をさらに拡充し、県内82か所、県外1か所において、中小企業・小規模事業者の経営相談に対応した。そのうち、74か所はテレビ電話システムを導入するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大対策としての持続化給付金及び家賃支援給付金の申請支援窓口を14市1町に臨時に開設し、事業者のより身近なところでの相談対応に努めた。さらに、中小企業・小規模事業者の多様なニーズに対応するため、コーディネーターを適宜入れ替えて補強するとともに、土日に加えて祝日も相談受付を行った。

また、中小企業・小規模事業者の経営に資するセミナーを開催するとともに、福岡県弁護士会及び日本政策金融公庫と連携し、合同相談を行った。

活動実績

指標	実績
相談対応件数	28,352件
来訪相談者数※	20,218者
課題解決件数	2,096件
ネットワーク活動件数	1,520件
少人数セミナー実施回数	1,356回（参加者数3,380名）
出張相談会実施回数	1,240回（参加者数4,647名）

※みなし来訪者を含む

(2) 専門家派遣事業

一定期間にわたり現場で助言して支援を行う必要があるものについて、振興センターに登録している専門家（中小企業診断士、社会保険労務士等）を直接企業に派遣し、その課題解決のための指導を行った。

専門家派遣件数

業 種	派遣企業数 (実数)	派遣等延べ件数
製 造 業	11社	36件
卸 売 業	0社	0件
建 設 業	3社	8件
小 売 業	6社	15件
サービス業	11社	57件
そ の 他	2社	10件
計	33社	126件

(3) ふくおか6次産業化・農商工連携推進サポートセンター事業

企画推進員 4 名、地域プランナー11 名、農商工連携アドバイザー8 名を配置し、6 次産業化・農商工連携に取り組む農林漁業者や中小企業者に対する支援を行った。農林漁業者等による6 次産業化の取組みを含む経営全体の付加価値額を増加させるための経営や組織運営の改善に対する支援のほか、商工業者の新商品・試作品開発などに対する個別支援を行った。

相談対応件数：350 件 商品開発・改良件数：47 件

(4) ふくおかフードビジネスマッチング事業

福岡県産農林水産物を活用した商品の開発を目的としたワークショップを開催し、食品製造事業者の知識やノウハウの向上を図った。また、バイヤーを招聘した商談会・展示会を通じて福岡県産農林水産物を活用した商品の販路拡大を図った。

ワークショップ（農商工連携事業）

①商品開発ワークショップ

開催日	開催場所	内 容	講 師	参加人数
令和2年9月16日	中小企業振興センタービル	売れる商品作りのための考え方や分析方法	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 柚木 重信	6名
令和2年10月7日	中小企業振興センタービル	分析に基づくアイデア出しやコンセプトづくり	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 柚木 重信	5名

令和2年10月21日	中小企業振興センタービル	商品開発実践（試作品開発及び評価、パッケージ開発、事業性評価）	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 柚木 重信	5名
令和2年11月11日	中小企業振興センタービル	製造・販売の基礎知識（製造許可、PL保険、食品表示、衛生管理）	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 柚木 重信	5名

②商品改良ワークショップ

開催日	開催場所	内容	講師	参加人数
令和2年10月1日	オンライン	商品開発・販路開拓の課題抽出	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 田中 美智子	4名
令和2年10月15日	オンライン	商品設計と事業計画策定	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 田中 美智子	4名
令和2年11月5日	オンライン	商品コンセプトと価格設定	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 田中 美智子	4名
令和2年11月26日	オンライン	食品関連法規の重要性	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 田中 美智子	4名
令和3年1月14日	オンライン	FCPシートの作成	ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター 農商工連携アドバイザー 田中 美智子	4名

商談会(地域資源活用促進事業)

①小規模商談会

開催日	開催場所	参加事業者数 参加バイヤー数	成果等
令和2年8月20日	中小企業振興センタービル	16社 7社	商談件数： 29件 成約件数： 10件
令和2年10月20日	中小企業振興センタービル	10社 5社	商談件数： 14件 成約件数： 0件
令和2年12月20日	中小企業振興センタービル	4社 2社	商談件数： 5件 成約件数： 0件

②展示商談会

開催日	開催方法	参加事業者数 参加バイヤー数	成果等 (令和3年3月31日現在)
令和3年3月8日～12日	オンライン	34社 10社	商談件数： 59件 成約件数： 2件

③即売会(農商工連携事業)

開催日	開催場所	展示商談会名等	参加 企業数	成果等
令和2年12月14日～16日	福岡県庁1階ロビー	福岡県6次化商品PR販売会	9社	売上金額：511,833円

(5) 北部九州自動車産業競争力強化支援事業

① 自動車産業アドバイザー及びカーエレプロモーターによる支援

自動車メーカーの現役社員を自動車産業アドバイザーとして2名配置し、豊富な知識と経験を活かし、県内中小企業に対する競争力向上や受注に関する助言指導、個別の取引あっせん等を実施し取引拡大の支援を行った。

また、カーエレクトロニクス専任としてカーエレプロモーター1名を配置し、電子・電装系分野に参入可能な県内企業の発掘等を行い、福岡県が名古屋事務所に配置しているカーエレプロモーターと連携して、保有する技術に応じた大手電子・電装系メーカーへの売込み等を行った。

項目	件数
企業訪問	473件
発注情報入手	29件
あっせん	60件

② 取引拡大の支援

ア 新技術・新工法オンライン商談会

三菱自動車工業株式会社及びその関連企業に対し、九州の地場企業が有する優れた新技術や新工法を特設のウェブサイトによりPRを行い、本サイトを閲覧した企業と出展企業によるオンライン商談会を実施した。

開催日	開催場所	展示企業		商談結果 (福岡県)	
		出展総数	福岡県	商談件数	取引可能 見込件数
令和3年2月22日～3月25日	オンライン開催	27社	15社	14件 (8件)	9件 (6件)

イ 九州自動車部品現調化促進商談会

自動車の一次部品メーカー等と地元中小企業の取引拡大に向けた商談会を実施した。

開催日	開催場所	商談参加企業数 (福岡県)			商談結果 (福岡県)
		発注企業	受注企業	面談件数	取引可能 見込件数
令和2年10月15日～16日	中小企業振興センタービル	10社 (2社)	37社 (23社)	49件 (31件)	19件 (12件)
令和2年10月29日～11月13日	オンライン開催	6社 (0社)	14社 (8社)	23件 (16件)	9件 (6件)

ウ 個別商談会

ダイハツ九州株式会社の社内サーバー上で地元中小企業の工場設備の保全や副資材、製造部品等に係る資料や動画を紹介するサイトを立ち上げてPRを行った。

WEB展示会 in ダイハツ九州

開催日	開催場所	紹介企業数 (福岡県)
令和3年2月1日～12日	ダイハツ九州(株)本社 (社内サーバーを利用)	18社 (4社)

エ カーエレクトロニクス分野別展示商談会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。

4 取引推進事業

(1) 企業間取引の推進

県内外の企業を訪問するなどして発注開拓を行い、取引条件の合う発注企業と受注企業相互の紹介と取引あっせんを行った。

また、企業間取引の拡大を促進するためにインターネットを活用した企業間取引サイトの運営を行うとともに、掲載データ更新及び機能強化を図った。

① 取引あっせん

ア 企業訪問

企業訪問により、地域における産業及び発注企業の動向を的確に把握し、受注企業に対して新規取引先に関する情報提供や、加工技術、設備、生産管理等に関する適切なアドバイスを行った。

訪問企業数 320社 (県内：318社 県外：2社)

② 「フクオカビジネスマッチングサイト」による取引の拡大支援

受発注企業情報を掲載したBtoBサイト「フクオカビジネスマッチングサイト」により、インターネットを活用した企業間取引を促進した。

区 分	登録企業数
製 造 業	2,371社
うち発注企業	159社
非 製 造 業	620社
合 計	2,991社

(2) 販路開拓支援

県内外メーカーや商社等の発注企業を招聘し、県内中小企業の受注機会を提供するために展示会・商談会を主催したほか、販路開拓支援の一環として、中小企業が出展する各種展示会、商談会の費用の一部を助成した。

また、民間通販サイトの利用が困難な中小企業の販路開拓を支援するため、消費者向けの通販サイト「よかもん市場」を運営するとともに、地域資源活用促進事業を活用し、県産農林水産加工商品のよかもん市場への無料登録を実施し、商品の魅力を十分に伝えるために専門家による取材とネットユーザーの囲い込みを目的としたリスティング広告を併用し更なる販路開拓を図った。

① 商談会・展示会等

中小企業等が必要とする経営資源の確保を支援するため、地方公共団体等からの受託及び自主企画により次の事業を実施した。

ア 商談会の開催

九州7県合同広域商談会

開 催 日	開 催 場 所	参加発注企業	参加受注企業 (福岡県)	商 談 件 数 (福岡県)	成約件数及び成約金額 (福岡県)
令和2年11月24日 ～12月28日	オンライン商談	21社	106社 (26社)	191件 (35件)	4件：110千円 (0件：0千円)

地域商談会

オンライン商談会「製造技術マッチングWeek」((公財)北九州観光コンベンション協会からの受託事業)

開 催 日	開 催 場 所	参加発注企業	参加受注企業	商 談 件 数	成約件数及び成約金額
令和2年11月16日～20日	オンライン商談	22社	54社	111件	10件：4,545千円

久留米市オンライン商談（久留米市からの受託事業）

開催日	開催場所	参加発注企業	参加受注企業	商談件数	成約件数及び成約金額
令和3年2月1日～3月19日	オンライン商談	9社	45社	84件	令和3年6月 成果アンケート実施予定

エコテクノビジネスマッチングコーディネート（（公財）北九州観光コンベンション協会からの受託事業）

開催日	開催場所	マッチングコーディネート数	交流ブース活用企業数
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。			

技術提案オンライン商談会（地域資源活用促進事業）

開催日	開催場所	参加企業数	プレゼン実施企業	最終商談企業
令和2年10月21日 ～令和3年1月28日	オンライン開催	発注1社 受注36社	14社	1社

オンライン商談会（地域資源活用促進事業）

開催日	開催場所	参加企業数	商談件数	成約数
令和2年6月24日～9月7日	オンライン開催	発注16社 受注45社	74社	10件

イ 展示会の実施

ふくおか産業技術振興展（主催：ふくおか産業技術振興展実行協議会）

開催日	開催場所	出展企業数	商談件数	成約件数及び成約金額
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。				

福岡市販路開拓展示会（福岡市からの補助事業）

開催日	開催場所	出展企業数	PV数
令和2年10月1日 ～令和3年1月4日	Web展示会	8社	1240件

福岡県技術提案展示商談会（地域資源活用促進事業）

開催日	開催場所	出展企業数	名刺交換枚数
令和2年12月17日	ニプロ（株）総合研究所	34社	391件

② 展示会への出展支援

新規取引先の開拓及び広域的な受注の確保を目的に展示会へ出展する企業に対し、助成を行った。

開催日	開催場所	展示会の名称	出展企業数	商談件数	成約件数	成約額
令和2年11月11日～12日	マリンメッセ福岡	FOOD STYLE2020 in FUKUOKA	20社	237件	27件	2,748千円

③ よかもん市場

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内中小企業者に対する支援として、新規に出店する事業者について年間出店料を一定条件下で無料とするとともに、既存出店事業者についても年間出店料を半額とした。

出店数：86店

売上額：21,653千円

商品アイテム数

食品 飲料品	インテリア	工芸品 民芸品	美容・健康	ファッション	ベビー キッズ	その他	合計
776	127	12	64	11	12	58	1,060

県産農林水産加工品よかもん市場登録件数(地域資源活用促進事業)

登録申込件数	うち登録済件数
22 件	22 件

県産農林水産加工品取材件数(地域資源活用促進事業)

掲載月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
掲載件数	1	5	6	5	4	4	48
掲載月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
掲載件数	6	1	3	5	0	8	

リスティング広告件数(地域資源活用促進事業)

実施月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
表示回数	0	120,039	883,128	1,228,295	493,631	166,946	表示回数 5,809,747
クリック数	0	3,191	6,864	10,506	5,108	579	
実施月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	クリック数 38,476
表示回数	338,440	409,590	678,800	1,463,100	27,778	0	
クリック数	1,936	793	2,842	6,542	115	0	

(3) 取引の適正化

(公財) 全国中小企業振興機関協会と連携して「下請かけこみ寺」事業を実施し、下請代金の遅延等、中小企業の苦情紛争相談に対し、相談員を配置し窓口相談や巡回相談会を行った。

① 相談件数

内 容	下請代金支払遅延等防止法						下請代金支払遅延等防止法以外			合 計	弁護士 相談件数
	遅延	減額	返品	買叩	要請	その他	建設業関連	運送業関連	その他		
相談件数	8件	1件	0件	21件	7件	13件	105 件	54 件	226 件	435 件	95 件

② 出張相談会の開催

業種を問わず企業間取引等に関する苦情紛争相談について、弁護士による出張相談会を開催した。

開催日	開催場所	弁護士	相談件数	主な相談内容
令和2年 9月29日	中小企業振興センタービル	松本 幸太 氏	5 件	報酬未払、契約解除
令和2年10月27日	A I Mビル	中野 敬一 氏	3 件	代金未払、不動産トラブル
令和2年11月19日	飯塚商工会議所	中村 博則 氏	5 件	代金未払、事業承継
令和2年12月10日	青翠法律事務所	富永 孝太郎 氏	5 件	代金未払、取引停止
令和3年 1月28日	中小企業振興センタービル	八尋 光良 氏	6 件	代金未払、契約トラブル
令和3年 2月18日	A I Mビル	平山 博久 氏	3 件	貸金未払、返済トラブル
		計	27 件	

(4) 国際取引推進

国際取引に関する相談に対して、相談員等が助言を行うほか、海外事務所4か所（上海、香港、バンコク、サンフランシスコ）を拠点として、情報の収集を図り、県内企業の海外進出や海外企業の誘致の支援を行った。海外ミッションの受入れ、国際取引セミナー、海外経済視察については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

5 起業支援事業

福岡よかところ起業支援金事業

地域課題の解決を目的として新たに社会的事業を起業する者に対し、事業立ち上げ等に必要な経費の一部を助成するとともに専門家による伴走支援を行った。

採択実績：8 件 交付決定額：11,560,000 円 額の確定額：7,221,000 円

伴走支援：65 回

対象者の主な要件：福岡県が実施する「福岡よかところビジネスプランコンテスト」において、二次審査に参加した者

6 知的財産活用支援事業

(1) 知財活動支援事業

県内中小企業の課題に応じて、知的財産の啓発・保護・活用、知的財産戦略などを総合的に支援した。

また、開放特許情報をホームページで県内外の企業に発信するとともに、開放特許の活用を促しコーディネートを実施した。

なお、工業高校の生徒に対して知的財産の重要性の認知度向上を図るための啓発活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施を見送った。

開放特許への新規登録件数：7件、普及啓発のためのミニセミナーの開催：4回（Web開催を含む）

特許流通コーディネーターの活動実績

区分	件数
企業訪問等による相談・指導	257件
技術移転に係る案件紹介	49件
技術移転に係る成約	1件

(2) 知的財産実務者育成事業

知的財産を事業戦略に活かせる県内中小企業等の実務者の育成を図るため、知的財産の活用、制度及び手続等をテーマにして、基礎知識を修得するセミナーの開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施を見送った。

(3) 中小企業等外国出願支援事業

中小企業等の海外展開を支援するため、特許等の外国出願に要した費用の一部を助成した。

助成企業数（件数）	助成した知的財産の種別	助成額
17社（20件）	特許出願 9件、商標出願 11件	10,720,000円

7 小規模企業者等設備導入資金事業（債権管理・回収業務）

小規模企業者等設備導入資金助成法に基づき、過年度に実施した設備資金貸付及び設備貸与（割賦販売・リース）の債権管理、回収業務を行った。

特に、未収債権（延滞債権・契約解除債権）については、こまめな訪問面談・督促により、25,406千円を回収した。

債権の資産査定を実施し、必要となる引当額を算定するとともに、回収困難となった債権については、債権償却基準に基づき適切に償却を実施した。

設備の利用状況及び財務状況等、企業の業況を把握するため、利用状況調査を実施した。

対象：貸付・貸与先である51社 実施時期：3月

II 収益事業

公益目的事業を支える財源を確保するため、福岡県中小企業振興センタービル及びはかた近代ビル（区分所有）の管理・運営を行うビル運営事業を適切に実施した。

1 福岡県中小企業振興センタービルの運営

(1) 貸室の提供促進

種 別	室 数	利用状況
飲食店舗、事務所、売店	3室	
インキュベート室 インキュベート関連室	26室	空室：1室

(2) ホール・会議室の提供

① 年間売上

	売 上 金 額	利用件数
ホール	43,899,609円	154件
会議室	67,647,361円	1,773件
計	111,546,970円	1,927件

② 広報宣伝活動の強化

- ・センターホームページにホール・会議室などの施設概要を掲載し情報提供を行うとともに、空室状況を閲覧できるようにするなど利便性の向上を図った。
- ・中小企業支援団体の機関誌（福岡県中小企業団体中央会「NEWSふくおか」等）を活用し、施設情報を提供した。
- ・新規顧客の開拓に向け、インターネットを利用したリスティング広告の掲載を行った。
- ・ホール・会議室の認知度を高めるため、通年でのワンコインスペースの貸し出しを行った。
- ・コロナ禍の自粛期間においては、電話により、営業活動やキャンセルした顧客へのフォローを行った。

(3) 建物・設備等管理

① 維持・管理

施設、設備等の改修工事を実施するとともに備品等を更新し、顧客満足度の向上を図った。

- ・非常用放送設備更新工事
- ・全熱交換器第1工区更新工事

② 防火・防災訓練

コロナ禍での防火・防災訓練については、博多消防署からの指導により参加者を限定した講習会形式での訓練を行った。

防火訓練（講習会） 第一回実施日：令和2年11月5日 振興センター及び入居団体参加者数：17名

防災訓練（講習会） 第二回実施日：令和3年2月18日 振興センター及び入居団体参加者数：23名

2 はかた近代ビル（区分所有）の運営

6室を区分所有し、全室賃貸オフィスとして提供している。

令和3年3月末現在 空室なし